

# ネットワーク



△東名高速道路のインターチェンジ入口付近



## 自然と生活の調和をめざし みんなの幸福を築くまち

# 伝法

このコーナーでは、公民館単位に各地区の話題や人物を紹介します。あなたの地区でのちょっとしたこぼれ話、出来事、ご意見などありましたらご連絡ください。8月は富士見台、9月は吉永地区です。連絡先…市内永田町1-100 市広報広聴課 ☎51-0123 内線2822、締め切りは毎月15日です。

伝法は、玄龍寺の伊勢塚古墳、奈良から平安時代にかけての大規模な集落跡である東平遺跡など、古くから静かな農村地帯のたたずまいを見せてきた地区です。いわば、富士市のあけぼのの地であり当時、富士郡の中心地であったと考えられます。

近年は千代田町・弥生新田付近の製紙を中心とする工業地帯と、その南側に広がる水田地帯、さらに伝法町付近の住宅地帯など、住工農が混在しています。旧大宮街道沿いを中心とした地域では次第にベッドタウン化も進んでいます。

一方、大月線、弥生線、東名高速道路の富士インターチェンジなどの幹線道路に加え、西富士道路臨港線などの交通網が広がってきました。それに伴い車社会の郊外型飲食・ビジネス街も出現し、市の中心街形成への側面もうかがわれます。

このため、二十一世紀に向けて、住環境の整備、幹線道路と生活道路との調整整備、コミュニティの問題などが課題となっています。



△保寿寺で説明を聞く皆さん

五月にコース開きをし、六月七日の第一回は、四歳から七十三歳までの約五十人が参加しました。

「健康つくって触れ合いつくって」をモットーに、だれでも、いつでも、どこでも、気軽に参加できるのが最大の特徴です。

積極的に参加している菅原儀兵衛さん(三日市・六十三歳)は、「私は元来、歩くのが大好きですが、好きでない人も十分楽しめるコースです。親子で参加すれば非行の防止になり、地域のコミュニケーションも育ちます。これから別のコースもつくりたいね」とアピール。

「ムムツ、またウエストがきつくなった」とお悩みの人も多いはず。そんな人にぜひお勧めしたいのが、伝法地区の「一万歩ふる里コース」。

これは、伝法公民館を起点に、市立博物館やかんかん堂、泰徳寺の氷石、伊勢塚古墳などの史跡九

カ所を毎月第一日曜日に歩くもの。所要時間は約一時間四十分で、距離は七・三キロ、約一万歩です。完歩すれば約二百カロリーの運動量となり、肥満はもちろん有効な成人病対策となります。

また、身近な史跡を知らない人も案外多く、まさに一石二鳥です。

今回は、健康を増進しながら、郷土の歴史・文化の学習と地域のコミュニケーションづくりを進める「伝法地区歩こう会」の皆さんです。

おじやます  
おします

### 健康つくって触れ合い

伝法地区歩こう会